

話し合い活動を取り入れた職業生活

川西高等特別支援学校 齋木 秀夫



本実践のねらい

職業生活の授業に話し合い活動を取り入れ、生徒の学習意欲や主体性、コミュニケーション能力を高める。



グループ討議

- 1グループ4～6人
- 班長はこちらで指名



- テーマ「現場実習の課題を解決するには」
 - ・忘れ物をなくすには
 - ・大きな声で返事ができるようになるには

グループ討議の長所と短所

長所

- 1対1に比べ、生徒の緊張感が少なく、話しやすい。
- 1対1に比べ、経験が多いので、話し合いの進め方がある程度理解されている。

短所

- 司会がうまく進行できないと、意見がほとんど出なかったり、ねらいから逸れた話し合いになったりする。

ペア型(1対1)

- 話し合いの時間は2～3分
- ローテーションし全員と話し合う



- テーマ
 - ・何のために働くのか
 - ・身だしなみで気を付けていることは何か

ペア型(1対1)の長所と短所

長所

- 全員に自分の考えを伝えることができる。
- ふだんあまり話さない人とも話すことができる(年度初めの学級作りに有効)。

短所

- 2人のコミュニケーション能力が高くないと話し合いが深まらない。
- 人間関係が良好でないと成立しにくい。



成果と課題

- 話し合い活動を生徒が嫌がらずに、楽しんでた。
- グループ討議では、司会が上手にみんなの意見を引き出し、話し合いが深まった。

- ねらいやテーマなどによって、グループと1対1のどちらが有効が明らかにする。

- 生徒個々のコミュニケーション能力を高めていく。

